

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立福小学校 学校協議会

1 総括についての評価

- ・ 概ね計画通り学校の運営は進められている。研究教科を国語とし、読解力の育成に取り組んだ結果が、経年テストの成績にも成果が表れている。
- ・ 一人一台タブレット端末の活用が児童に身に付いてきている。今後さらなる有効な活用方法を工夫していただきたい。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安心・安全な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、85%以上にする。
- 「学校のきまり(規則)を守っていますか」の項目に対して、肯定的に回答する児童(生徒)の割合を、91%以上にする。

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合が95%で年度目標を上回った。
- ・ 小学校学力経年調査における「学校のきまり(規則)を守っていますか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合が86%で年度目標を下回っている。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目に対して、最も肯定的に答える児童の割合を、35%以上にする。
- 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を74%以上にする。

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は43%で年度目標を上回った。

- ・ 小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較した結果、6年生は0.02ポイント、5年生は0.1ポイント向上した。4年生は前年度と同じ結果であった。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」の項目に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は79%で年度目標を上回った。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が年間の授業日の70%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を100%にする。

- ・ 1月末時点での割合は83%と市教委から報告を受けている。児童はタブレット端末を毎日使用する習慣が身に付いてきている。
- ・ 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目に対して、肯定的に答える児童の割合は80%で年度目標を下回っている。タブレット端末の使用時間が多くなり、読書離れが危惧される。
- ・ 1月末時点での割合は94%と市教委から報告を受けている。時間外勤務時間は大阪市平均時間より9時間ほど短く、働き方改革が進み、教職員は効率的に業務に当たることができている。

3 今後の学校園の運営についての意見

- 全校児童が「いじめはどんな理由があっても許されるものではない」という強い気持ちを持ち、一人一人がいじめをもっと身近な自分事として考えることができるように毎月いじめアンケートを実施することにご賛同いただいた。
- 学校のきまりやルールを守る規範意識は高学年になるにつれて低くなる傾向にあるため、下学年の良い手本となるように、高学年の規範意識を高めていくことができるよう、地域・家庭と連携して取り組んでいくことに協力していただく。